

3月議会 一般質問 (菅井巖議員)

ひきこもり支援、発達障がい者支援を

市当局、「発達障害専門部会」の設置を言明

4日に行われた鶴岡市議会一般質問で、日本共産党の菅井巖議員は、①ひきこもり支援策、②発達障がい者の支援策、③冠水対策などを取り上げました。

ひきこもり支援、役割明確化を



問 県が昨年実施した「ひきこもりの実態」に関するアンケート調査が、昨年12月に結果公表されたが、県の結果報告会議に、市からは出席していない。その欠席の理由は何だったのか。

答 調査によれば、「ひきこもり」該当者が、県全体では1607人、庄内地域は452人であり、男性比率が約7割、年代は10代と40代までが341人と75%を占めており、市の該当者は188人と聞いている。



○該当者(全年齢)の総数は1,607人となっている。
○出現率(人口当たりの該当者数)を地域別に見ると、合計では0.14%となっており、地域別に見ると町村部が0.20%と市部に比べてやや高くなっている。

合わせた、家庭・地域・民間団体・関係機関の関わり方、役割を明らかにすること。

③医師や、関係機関、民間支援団体などによる「検討委員会」の設置。

健康福祉部長 県の報告会には、庁内の連絡調整が不徹底であり出席していないが、後日県から資料をもらい、内容については検討している。

発達障がい者支援策の充実を

問 発達障がい者は、社会的に孤立しやすく、専門的な支援が必要。視覚や聴覚、においなどに過剰に反応したり、人ごみの中で圧迫感を感じたりすることで、パニックを起こしたりすることもあり、社会生活の中での市民の理解と支援が不可欠。

市としても、①専門的な知識を持った職員研修や、専門窓口の配置、庁内での案内、掲示の充実。②ライフステージを通じた支援の方針。③問題を検討する専門部会体制の確立。④就労移行支援の、市内事業所への啓発活

康福祉部門や各種相談窓口で対応し、内容に応じて医療機関や庄内保健所、民間団体である「自立支援センターふきのとう」、就労支援相談は酒田にある「庄内地域若者サポートステーション」へ紹介している。

ひきこもりの要因や影響が複雑で、個別に違うため「どこに相談したらいいのかわからない」との声もある。市民にわかりやすく、相談しやすい窓口のありかた、個別のケースに応じた専門的な対応ができる仕組みづくりを検討してゆく。

大山区冠水 抜本的対策を

問 公共下水雨水・大山第一排水区(大山二丁目・三丁目の旧町内の下水・雨水を大山川に排出する経路)が、近年周辺の宅地開発と農地減少により湛水機能が低下し、大雨などで雨水が一気に幹線排水に流れ込み、殿町、上本町、下本町などの雨水を呑み込む機能を低下させ、低地にある宅地などに冠水被害が発生している。「大雨になると、毎回土のうを積み上げて対策しなければならぬ。何とかしてほしい」と住民の声がある。

健康福祉部長 発達障害を診断できる医療機関が少ないこと、様々な機関の理解不足、経済的基盤である、就職後の就労支援、生活支援、訓練活動など青年・壮年期の支援体制整備は未だ途上。生涯を通じた支援の構築は大きな課題と認識している。

市としては、「障害者地域自立支援協議会」に、発達障害に関する専門部会を立ち上げ、情報共有や連携、支援の方向性などについて検討を深めてゆく。

建設部長 大山第一排水区(53・9ヶヶ)は、市としても改善の必要があると認識している。

排水面積が広く、南北に長い排水区のため、上流部で発生している浸水被害を解消するには雨水幹線の整備が必要と考えている。現在の排水計画は平成5年度策定のもので、見直しが必要。事業化については、今後地区全体の計画を見直すとともに、他の事業予定地区の進捗状況を勘案しながら検討してゆく。

3月議会 一般質問（加藤鉦一議員）

出初式は防災力強化に重要 総合交付金のすすめ方は

4日に行われた鶴岡市議会の一般質問で、日本共産党の加藤鉦一議員は、①藤島地域の出初式の中
止と防災力、②単位自治組織への総合交付金に
ついて取り上げました。



旧町の伝統は継続できないか

問 合併後、旧町村の

行政力の縮小に伴い、地域の防災力も小さくなってきている。旧町の伝統でもある出初式を継続できないか。

答 本部・分署に移され、地域庁舎の防災力の後退しているのでは。消防団事務を地域庁舎に戻すべき。

消防長 消防団統合

後、団全体に関わる事務などは消防本部の主体となったことから、平成25年度に団事務を一元化し、各地区の対応のため分署が窓口業務を行うことにした。庁舎との連携は防災担当職員も会議に出席し、図られている。

自治体の防災力

問 ①地域庁舎への権

限委譲、本庁と地域庁舎との分権化、

②地域住民組織の育成、住民の防災活動の

活発化、
③住民と自治体職員との協働関係を高め、被災時対応の迅速化を

総合交付金の会計処理

問 自治組織が町内会費によつて運営してきた会計に、総合交付金

が加わることにより、予算・決算書の提出が義務づけられ、「会計監査もあるのでは」「特別会計の処理も良いのでは」という声がある。市の対応は。

市民部長 総合交付金は市の補助金申請・交

図る、
④公聴啓発活動の活発化、を求める。

市民部長 地域の災害特性に合わせ迅速かつ的確な対策を講ずるには、地域に精通している地域庁舎の災害対策が重要と考えている。

付事務と同様のすすめ方で行われる。

特別会計によらず、町内会の会計処理がスムーズに移行されるよう支援していきたい。問 支所体制の縮小による行政力の低下に対して、ある意味ではそれを補完するものとして住民自治の強化を図る、そのための総合交付金だ。

市民部長 それは違う。地域コミュニティの維持活性化を推進し、活動基盤の強化を図るためのものだ。

震災復興シンポに参加して(1)

加藤太一

8日仙台市で行われた「被災地から『この国のかたち』を正す」シンポジウムに参加しました。塩崎賢明氏（立命館大学教授）が「被災地から考える復興・減殺」、馬場有氏（浪江町長）が「原発災害

会長）、佐藤力也氏（大船渡市役所職員組合委員長）、岡田知弘氏（自治体問題研究所理事長）によるシンポジウム「被災地から『この国のかたち』を正す」が行われました。

から住民の命を守る」と題して講演、両氏に加えて飯塚正広氏（あすと長町仮設住宅自治

塩崎氏は「今なお被害が継続しており災害から災害のサイクルの中で減災を考える必要がある。復興は次の災

援など、避難所から仮設住宅、恒久住宅までの全プロセスを見通した住宅復興プログラムが必要」と指摘しました。（つづく）



国際婦人デー田川地区集会開催 作家・雨宮処凛さんが講話

8日、国際婦人デー田川地区集会が開催され、来賓として関徹市

議団長が出席しました。

第一部の職場・地域からの報告とアピール採択に続いて行われた第二部では、「これでいいのか？格差、貧困、生きづらさ、そして原発…、雨宮処凛さんにお聞きします」と題して、作家・活動家の雨宮処凛さんがインタビュー形式で講話を行いました。

建築課入札結果（ ）内は予定価格

- 3月10日入札分
 - ・市立加茂水族館入場管理機器設置工事 (株)渡会電気土木 9,160,000円 (9,350,000円) 工期~5/20 (落札率98.0%)
 - ・市立加茂水族館屋上・外構緑化工事 (株)佐藤工務 39,200,000円 (39,350,000円) 工期~5/20 (落札率99.6%)
- 3月7日入札分
 - ・市立加茂水族館有機EL照明工事 アベ電工(株) 5,850,000円 (6,173,000円) 工期~3/25 (落札率94.8%)
- 3月6日入札分
 - ・市立加茂水族館東駐車場照明設備工事 大同電気(株) 3,500,000円 (3,633,000円) 工期~5/16 (落札率96.3%)
 - ・鶴岡市文化会館改築給排水衛生機械設備工事 中止 - (204,900,000円) 工期~28/8/31
 - ・鶴岡市文化会館改築空調機械設備工事 中止 - (462,800,000円) 工期~28/8/31
 - ・鶴岡市文化会館改築電気設備工事 中止 - (370,700,000円) 工期~28/8/31
 - ・鶴岡市文化会館改築工事 不調 - (3,051,000,000円) 工期~28/8/31

土木課入札結果（ ）内は予定価格

- 3月6日入札分
 - ・白山9号線舗装新設工事(債務負担行為) (白山地内) (株)三庄 1,600,000円 (1,680,000円) 工期~5/9 (落札率95.2%)
 - ・大山小学校城山線道路冠水対策工事(債務負担行為)(大山三丁目地内) 山形工業(株) 2,750,000円 (3,140,000円) 工期~6/13 (落札率87.6%)
 - ・山王町宝町線道路改良工事(債務負担行為) (宝町地内) 山形工業(株) 4,500,000円 (4,980,000円) 工期~6/2 (落札率90.4%)
 - ・大谷8号線道路改良工事(債務負担行為) (大広地内) (有)大地工営 6,250,000円 (7,010,000円) 工期~5/30 (落札率89.2%)